

渡島・檜山地方税滞納整理機構の財務書類（平成30年度決算）の概要

1 貸借対照表

借 方	貸 方
【資 産】 1,361 万円	【負 債】 0 円
投資等 859 万円	【純資産】 1,361 万円
うち基金 859 万円	その他一般財源 1,361 万円
流動資産 502 万円	うち基金 859 万円
うち現金預金 502 万円	うち現金預金 502 万円
【資産合計】 1,361 万円	【負債・純資産合計】 1,361 万円

資産総額は1,361万円で、負債は0円、純資産は1,361万円となっている。

資産については、基金と現金預金である。基金の内訳は、定期預金となっている。
現金預金の内訳は、一般会計の歳入歳出差引額の合計（剰余金）となっている。

2 行政コスト計算書

【経常行政コスト】	3,883 万円
人件費	214 万円
物件費	803 万円
補助金等	2,866 万円
【経常収益】	3,874 万円
負担金	3,874 万円
【純経常行政コスト】	9 万円

経常行政コストは総額3,883万円であり、経常収益は3,874万円となっている。

これらの差引からなる純経常行政コストは9万円となっている。

経常行政コストを性質別に見ると、人件費（顧問弁護士・監査委員報酬、各種手当等）が214万円、物件費（物にかかるコスト）が803万円となっている。補助金等の内訳として、派遣職員の給与等負担金が2,343万円、前年度剰余金の還付分が507万円、その他負担金等が16万円で、合計2,866万円となっている。経常収益は、構成各市町負担金として3,874万円となっている。

3 純資産変動計算書

平成30年度における純資産の変動は5万円となっている。

内訳として、純経常行政コストによる減が9万円、財産運用収入（利息分）と雑入による増が4万円となっている。

4 資金収支計算書

平成30年度末の歳計現金残高は502万円となっている。

現金残高は剰余金なので、翌年度、構成各市町に還付金として支出するものである。